

HiKOKI

取扱説明書

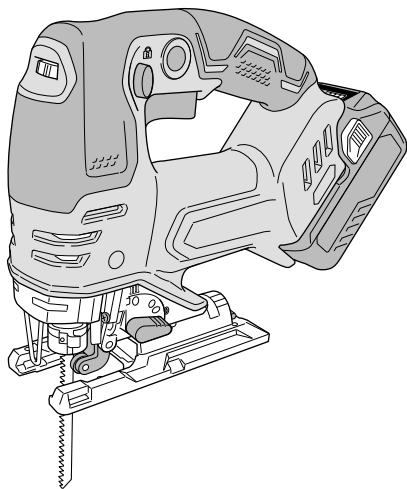
用途

- 各種木材の切断、および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなど各種合成樹脂の切断
- 各種化粧板、薄物軟質新建材の切断
- ステンレス板の切断

コードレスジグソー

36 V CJ 36DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
USB 機器との接続時のご注意	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
標準付属品	10
仕様	11
別売部品	13

使い方

蓄電池の取りはずし・取付け	15
スイッチロックについて	16
スイッチについて	16
LED ライトの使い方	17
LED ライトの警告シグナルについて	17
電池残量について	18
ブレードのスピード調整	19
オービタル機構について	20
ブレードの取付け・取りはずし	21
刃口板の取付け	22
六角棒スパナの収納について	22
チップカバーの取付け	23
サブベース（別売部品）の取付け	23
ダストコレクタ（別売部品）の取付け	24
基本の切断	25
金属の切断	27
いろいろな切断	29
ガイド（別売部品）を使う	31
蓄電池を充電する	33
USB 機器を充電する	35

その他

保守・点検	37
故障診断	41
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

● 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

● 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

また、破裂や火災の恐れがあります。

● 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

● 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不用意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜いたりしないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 落下など、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスジグソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
 - 誤って電線を切断してしまった場合の感電防止のため、使用中は機体の金属部に触れないでください。
- ② 次の場合は、スイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込みロックして蓄電池を工具本体からはずしてください。
 - 作業を中断、および終了したとき
 - ブレードを取付け・取りはずすとき
 - 付属品や別売部品を取付け・取りはずすとき
 - ベースの位置を調整するとき
 - 保守・点検・保管するとき
- ③ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、ブレード類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑥ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑦ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ⑧ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑨ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損や消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

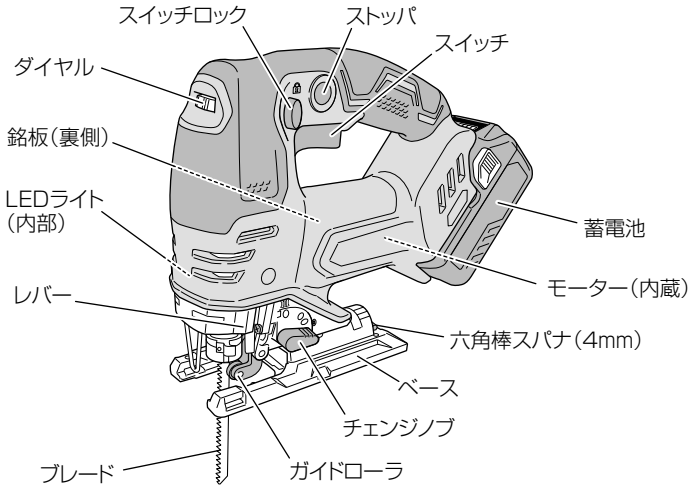


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

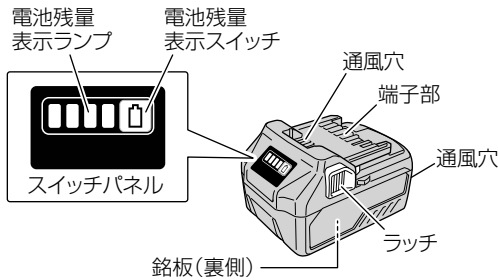
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

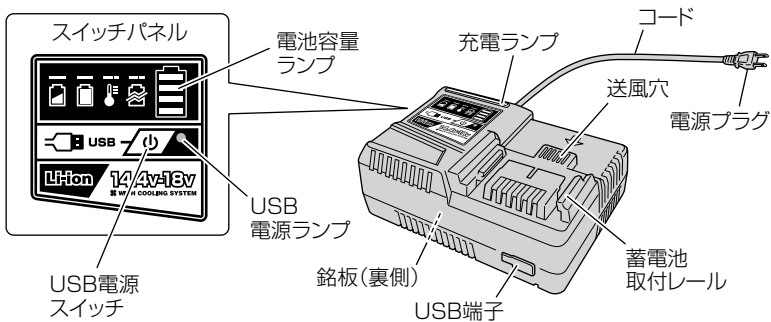
工具本体



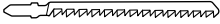

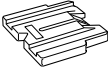
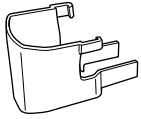
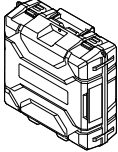

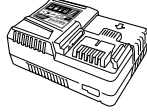

蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	工具本体 仕様	CJ 36DA	
		XP	NN
ブレード (No. 41)		1 枚	1 枚
六角棒スパナ (4 mm)		1 本 (ベース収納部に装着)	1 本 (ベース収納部に装着)
刃口板		1 個	1 個
チップカバー		1 個	1 個
ケース		1 個	—
蓄電池 BSL 36A18		1 個	—
充電器 UC 18YDL		1 台	—
電池カバー		1 個	—

仕様

1. 工具体体

形名	CJ 36DA
切断能力	木材：厚さ 135 mm 軟鋼板：厚さ 10 mm ステンレス：厚さ 3.2 mm
モーター	直流ブラシレスモーター
無負荷ストローク数 (気温 20℃ 満充電時)	通常モード(ダイヤル 1～5)：800～3,500 min ⁻¹ {回/分} オートモード(ダイヤル A)：1,400 min ⁻¹ {回/分}
ストローク量	26 mm
最小切断半径	25 mm
寸法 全長×高さ×全幅	277×206×81 mm (BSL 36A18 装着時)
質量	2.7 kg (BSL 36A18 装着時)
使用可能蓄電池 ^{*1}	マルチボルトタイプ蓄電池
LED ライト	白色 LED
振動3軸合成値 ^{*2}	木材 8.4 m/s ² ^{*3} 軟鋼板 4.5 m/s ² ^{*3}

※1：既存の蓄電池 (BSL 3660/3626/3620、および BSL 18xx、BSL 14xx シリーズ) は使用できません。

※2：振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。

※3：振動 3 軸合成値は、EN62841-2-11 規格に基づき測定しています。

2. 蓄電池

形名	BSL 36A18
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36 V / 18 V (自動切替 ^{*1})
容量	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 ^{*1})
冷却	対応
使用可能 コードレス製品	18 V 品 ^{*2} 36 V 品：マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxx シリーズ
残量表示ランプ	緑色 LED

※1：工具体体により自動で切り替わります。

※2：詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

3. 充電器

形 名		UC 18YDL		
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL 14xxシリーズ)、18 V (BSL 18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池		
入力電源		単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V		
充電電圧		14.4 V または 18 V		18 V
充電電流		12.0 A	6.0 A	12.0 A
充電時間*1 [気温 20℃時]		標準タイプ	薄型軽量タイプ	マルチボルトタイプ
		BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860 : 約 30 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分	
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850 : 約 25 分	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分 BSL 36C18 : 約 15 分
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840 : 約 20 分	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分	
		BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830 : 約 15 分	BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分	
USB端子	出力電圧	5 V		
	出力電流	2 A		
コ ー ド		2 心ビニールコード		
質 量		0.8 kg		
使用温度範囲*2		-10 ~ 40℃		
冷 却		対応 (ファン付き)		
ブ ザ ー 音		あり		

※1: 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2: 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなる場合があります。

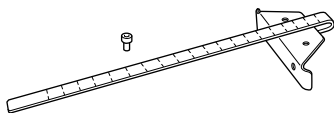
別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品を使用することで、いろいろな作業に利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ガイド

直線や円弧を切る場合に利用してください。

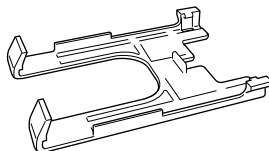
(P.31「ガイドを使う」参照)



サブベース

円や円弧など曲線切りの際に使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

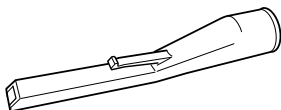
(P.23「サブベースの取付け」参照)



ダストコレクタ

木材などの切断時に発生する切粉を、電動工具用集じん機(別売)を使用して集じんする場合に用います。

(P.24「ダストコレクタの取付け」参照)



各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。

ブレード適正一覧表 [下記表中の数字は切断可能な厚さ (mm) を示します。]

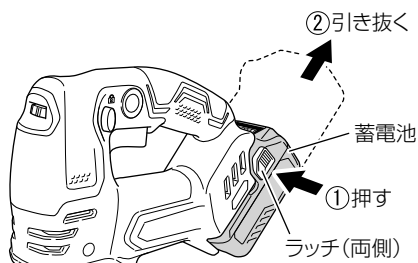
主要 切断材料	ブレード No.	山数 / 1 インチ	全長 mm	切断能力 mm				
				木材合板	塩ビ プラスチック アクリル	軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属
木材	※ No.1	9 山	88	20 ~ 35	—	—	—	—
	※ No.2	12 山		20 以下	3 ~ 20	—	—	—
	No.1 (ロング)	6 山	160	105 以下	—	—	—	—
	No.1 (スーパーロング)		185	135 以下	—	—	—	—
	No.11	8 山	105	10 ~ 55	5 ~ 20	—	—	—
	※ No.31	9 山		20 ~ 55	—	—	—	—
	No.12	20 山	77	20 以下	10 以下	—	—	—
	No.42	13 山		2 ~ 15	—	—	—	—
	合板用	25 山		2 ~ 20	—	—	—	—
	曲線切り	14 山		20 以下	—	—	—	—
	No.21	6 山	105	5 ~ 55	5 ~ 20	—	—	—
	No.22 (仕上用)	10 山		3 ~ 40	3 ~ 15	—	—	—
	No.41 (仕上用)	8 山	116	10 ~ 65	—	—	—	—
No.1 (仕上用)	12 山	82	2 ~ 40	3 以下	—	—	—	
合成樹脂	No.4	13 山	83	—	3 ~ 20	—	—	—
FRP	グリッド	—	83	FRP 板厚 10 mm				
鉄材	No.123X	10 ~ 21 山	100	—	—	1.5 ~ 10	—	—
	No.15	8 山	77	—	5 ~ 15	3 ~ 6	—	3 ~ 10
	No.16	25 山		—	5 以下	3 以下	—	3 以下
	No.5A (押切刃)			—	—	1.7 ~ 3.0	—	2 ~ 4
	No.6A (押切刃)	32 山		—	—	1.6 以下	—	2 以下
	曲線切り	25 山		—	—	2 以下	—	—
ステンレス	No.50	13 山	92	—	5 ~ 15	2.5 ~ 6.0	2.0 ~ 3.2	3 ~ 13
	No.51	21 山		—	5 ~ 20	1.5 ~ 5.0	1.5 ~ 2.5	5 以下
	No.52	32 山		—	5 以下	3 以下	0.5 ~ 1.5	3 以下
	No.97	21 山	77	—	5 ~ 15	2 ~ 5	1.5 ~ 2.5	5 以下
	No.95	18 山	83	—	5 ~ 20	3 ~ 6	1.5 ~ 3.2	3 ~ 12
	No.96	32 山		—	5 以下	3 以下	0.5 ~ 1.5	3 以下

※ No.1、2、31 のブレードで、傾斜切断はできません。

蓄電池の取りはずし・取付け

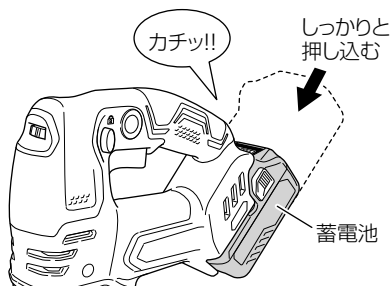
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

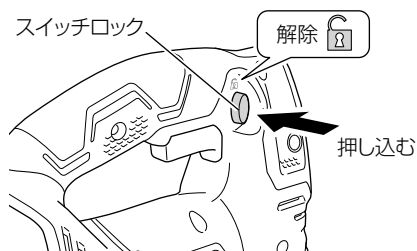
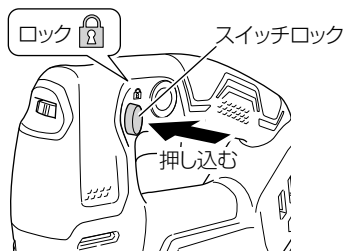
取付けるとき



スイッチロックについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないように、スイッチロックが付いています。

スイッチロックは、しっかりと押し込んでください。



スイッチについて

スイッチロックを「解除」側にした状態で、スイッチを引くと入り、はなすと切れます。

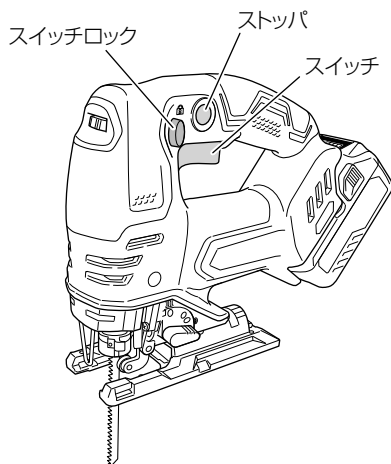
スイッチの引き込み量で無段階にストローク数が変わります。

スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

スイッチを引いてからストoppaを押すと、スイッチをはなしても固定され連続運転になります。

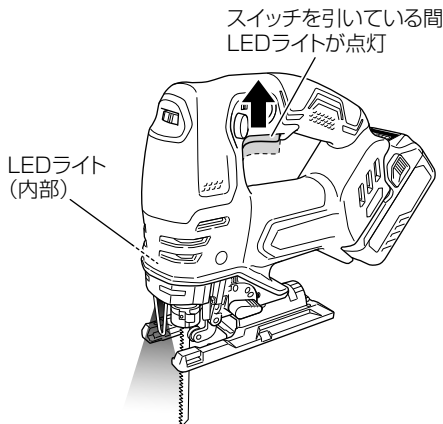
停止させるときは、もう一度スイッチを引いてからはなしますと連続運転が解除されます。



LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、自動的に LED ライトが工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなして、約 10 秒後に LED ライトは自動消灯します。

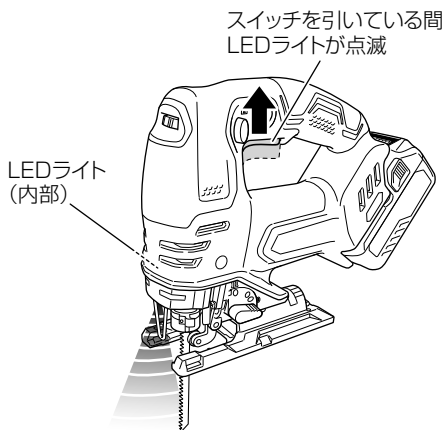




LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いています。

作業中に各保護機能が作動すると、スイッチを引いている間とスイッチをはなしてから約10秒間、LED ライトが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



保護機能	LED ライトの表示	対処方法
過負荷保護	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (速い点滅)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	工具本体および蓄電池を十分に冷却してください。

電池残量について

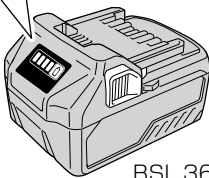
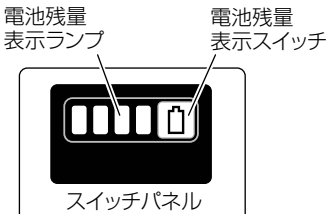
● 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{*1}
		故障のため出力停止 ^{*2}

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

● 1 充電当たりの作業量について

切断量は、材料の状態、ブレードの種類、使用環境、蓄電池特性などにより多少異なります。

(蓄電池 BSL 36A18 使用時)

材料	サイズ(長さ×厚さ)	使用ブレード	オービタルポジション	作業量
MDF	300 mm × 24 mm	No. 41	Ⅲ	150 カット

ブレードのスピード調整

本機はブレードのスピードを無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったスピードで使用してください。

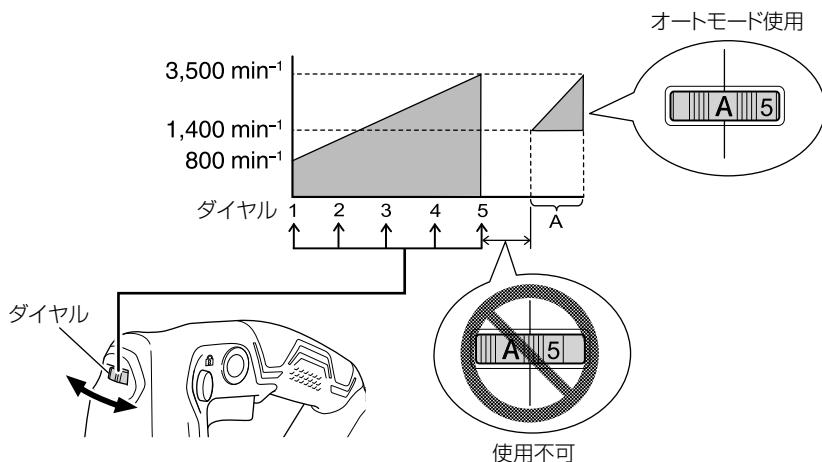
ダイヤルの目盛り "1" が最低速 (800 min^{-1} {回/分}) で、目盛り "5" が最高速 ($3,500 \text{ min}^{-1}$ {回/分}) の範囲で無段階に設定できます。

"A" は、作業の負荷に応じて、スピードを $1,400 \text{ min}^{-1}$ から $3,500 \text{ min}^{-1}$ に自動で切り替え、スピードはスイッチが切られるまで維持されます。

作業前・作業間の無負荷時に振動・騒音を下げることがあります。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったブレードのスピードで使用してください。

一般に軟質材では高速、硬質材では低速が適しています。



ダイヤル	ストローク数
1 ~ 5	$800 \sim 3,500 \text{ min}^{-1}$ {回/分}
A	$1,400 \text{ min}^{-1}$ {回/分} (負荷がかかる前) $3,500 \text{ min}^{-1}$ {回/分} (負荷がかかった後)

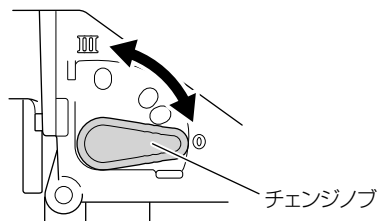
- 注**
- 低速 (目盛り 1 ~ 2) では、木材で 10 mm、金属板で 1 mm を超える厚さの材料は切断しないでください。
 - "A" で使用の際は、ダイヤルを上図の A の位置まで回してください。
 - "A" で使用する際に、作業条件やブレードの種類によって、ストロークが $3,500 \text{ min}^{-1}$ に上がらない場合があります。

オービタル機構について

本機はブレードが上下運動と同時に前後にも運動するオービタル運動機構を備えています。

オービタルポジションはチェンジノブで切り替わります。

用途に応じたオービタルポジションを選択してください。



● オービタル運動機構

ブレードが上下プラス前後運動するため、特に木材などの軟質材において、切断材への食い込み、および切粉の排出が良くなり、切断作業が効率良く行えます。

		オービタルポジション		
		Ⅲ	←→	0
ブレードの運動軌道	ストローク量 26mm			
				単なる上下運動

● オービタルポジションの選択 (目安)

最適なポジションは切断する材料のかたさ、厚さ、切断面の仕上がり程度、およびその他の要因によって左右されるため、あくまでも目安として利用してください。

オービタル機構使用時は材料がバタつきやすいため、材料をしっかり固定してください。

要 因	オービタルポジション	
	Ⅲ	←→ 0
材 料 の か た さ	軟質材	←→ 硬質材
材 料 の 厚 さ	厚い	←→ 薄い
切 断 速 度	速く切る	←→ ゆっくり切る
直線切りか曲線切りか	直線に切る	←→ 曲線に切る
仕 上 り 程 度	悪くても良い (ケバ立ち、縁欠け などがあっても良い)	←→ きれいに仕上げたい

ブレードの取付け・取りはずし

⚠️注意

- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。
- ブレードの刃に触れないでください。

取付け方

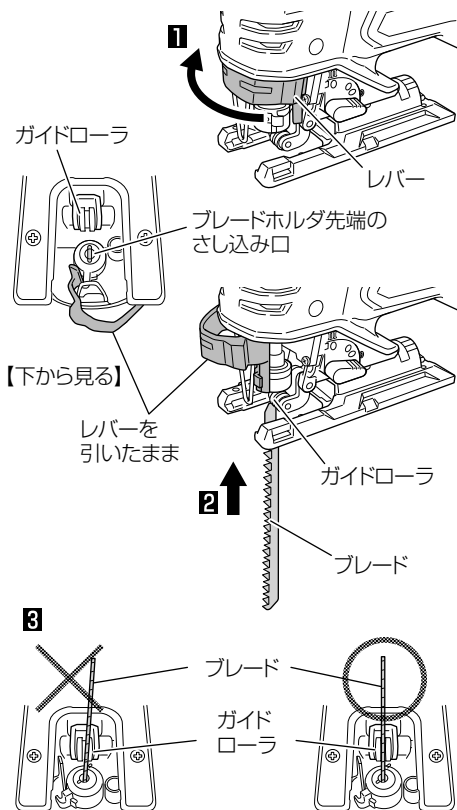
- 1** レバーを矢印の方向に引きます。
- 2** レバーを引いたまま、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から突き当たるまでさし込みます。
- 3** レバーを元に戻すとブレードが固定されます。
ブレードがガイドローラの溝に入っていること、またブレードが抜けないことを確認してください。

⚠️注意

使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。

取りはずし方

- 4** 取付けたときと同様にレバーを矢印 **1** の方向に引きながら、ブレードを引き抜きます。



- 注**
- ガイドローラ部に、時々潤滑油をさしてください。
 - ブレードを交換するときに、さし込み口にたまった切粉を掃除してください。

刃口板の取付け

木材の直線切りで、切断面角部のけば立ちを小さくするときに刃口板を使用します。

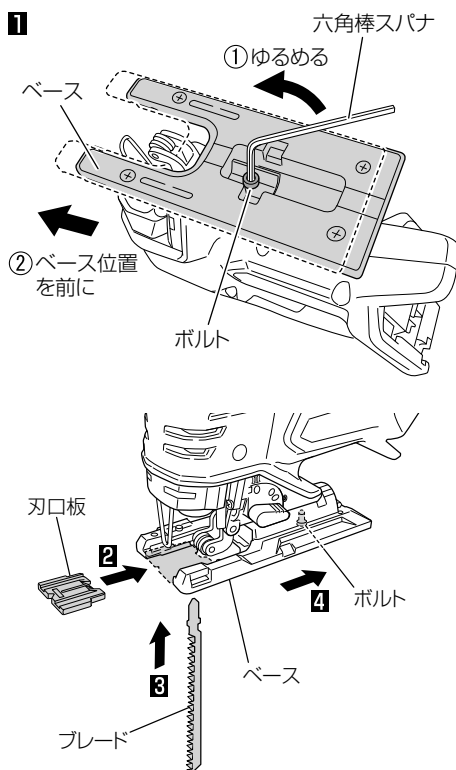
1 ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動させます。

2 刃口板をベース前面から、奥までさし込みます。

3 ブレードを装着します。
(P.21「ブレードの取付け・取りはずし」参照)

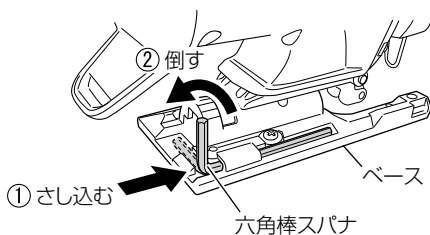
4 ベースを最後方位置まで戻し、ベース下部のボルトを締付けてベースを固定します。

注 刃口板は直角での(ベース傾斜0°)直線切り以外の切断には使用できません。



六角棒スパナの収納について

ベースに六角棒スパナを収納することができます。
右図のように収納してください。



チップカバーの取付け

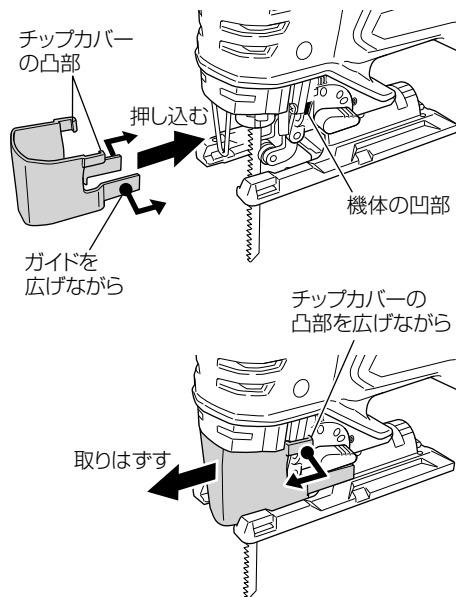
- 1** 機体を直角（傾斜 0°）にする。
（P.29「傾斜切断」参照）

注 ベースを傾斜させた状態でチップカバーを取付けることはできません。

- 2** チップカバーのガイドを手で広げながら、機体側に押し込みます。

- 3** チップカバーの凸部が機体の凹部に入っていることを確認してください。

- 4** はずすときは、チップカバーの凸部を広げ、機体の凹部からはずして引き抜きます。



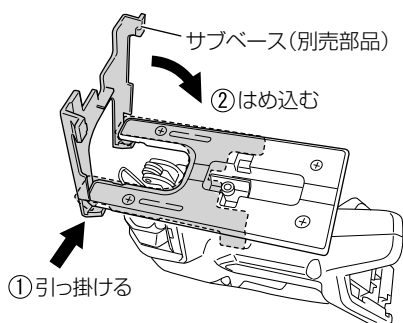
サブベース（別売部品）の取付け

円や円弧など、曲線切りのときに使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

ベースの先端にサブベースを引っ掛けてからはめ込みます。

はずすときは引き上げてください。

- 注** サブベースを取付けると、切断材からブレードが突き出す長さが 3 mm 減少します。ブレードが最も下に移動したときに、材料からブレードが出ることを確認してください。



ダストコレクタ（別売部品）の取付け

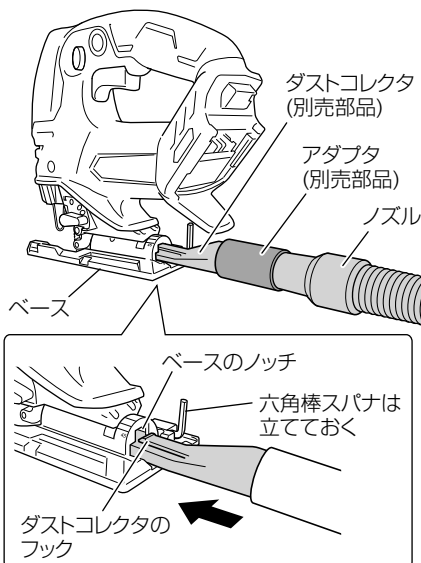
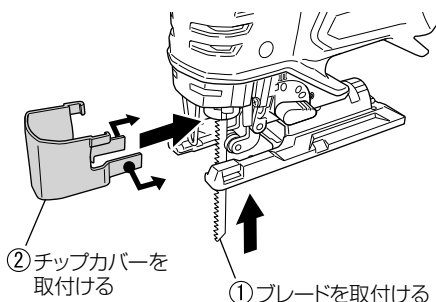
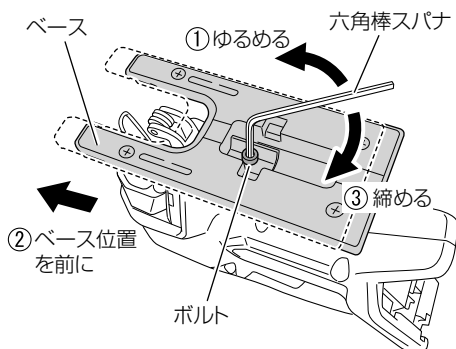
木材などの切断時に発生する切粉を、電動工具用集じん機（別売）を使用して集じんする場合に用います。

1 ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動してから固定します。

2 ブレードとチップカバーを取付けます。
(P.23「チップカバーの取付け」参照)

3 ダストコレクタのフックがベースのノッチに確実に収まるまで、ベースにさし込みます。

注 ノズルの内径がφ25以下の集じん機を使用する場合は、別途アダプタ（別売部品）を右図のように接続します。



基本の切断

⚠警告

切断中は切粉が飛散するので、保護メガネを使用してください。

材料に、ケガキ線を引き、線に沿って切断します。

材料を内側から切断するときは、あらかじめドリルなどでブレードが入る穴をあけておきます。

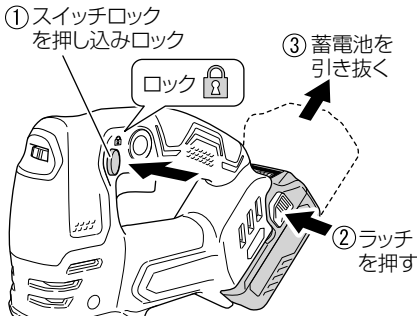
⚠注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。反動で機体が浮き上がる場合があり、けがの原因になります。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。機体の破損および、けがの原因になります。

1

蓄電池を取りはずす

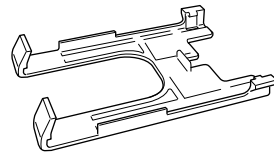
誤作動防止のため、スイッチロックをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。（P.16「スイッチロックについて」参照）



3

サブベース（別売部品）を取付ける 〈曲線切りの場合〉

曲線切りをするときは、別売部品のサブベースを使用すると作業しやすくなります。（P.23「サブベースの取付け」参照）



2

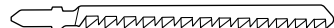
ケガキ線を引く

材料を切断する場所にケガキ線を引きます。

4

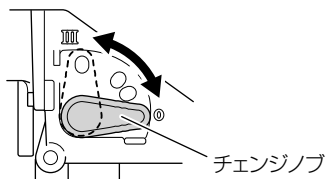
ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレードを使用してください。（P.21「ブレードの取付け・取りはずし」参照）



5 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを回して、用途に応じたオービタルポジションに設定します。
(P.20「オービタル機構について」参照)



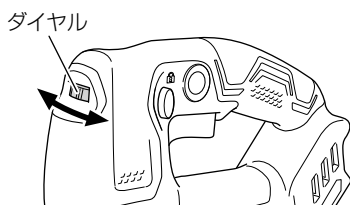
8 スイッチロックを解除する

スイッチロックを解除側（左側）に押し込み、スイッチロックを解除します。
(P.16「スイッチロックについて」参照)



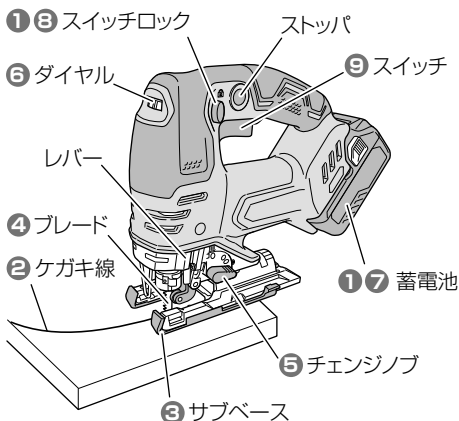
6 スピードを調整する

ダイヤルを回して、用途に応じてスピードを調整します。
(P.19「ブレードのスピード調整」参照)



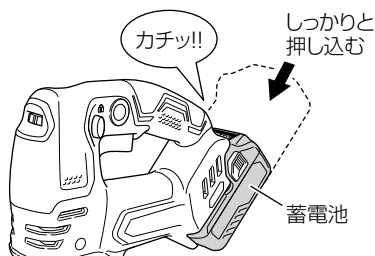
9 スイッチを入れる

ベースを材料に密着させ、ブレードが材料に触れない位置でスイッチを入れます。
ケガキ線に沿って、ゆっくりと切断してください。



7 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



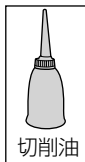
注 切断中は、ベースを材料に密着させてください。
ベースと材料がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。

金属の切断

警告

切断中は切粉が飛散するので、保護メガネを使用してください。

- 注** ● 金属切断時は切削油（スピンドル油、石けん水など）を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。
- 液状の切削油を使用しない場合は、グリースを加工材の裏面に塗ってください。



注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。反動で機体が浮き上がる場合があり、けがの原因になります。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。機体の破損および、けがの原因になります。

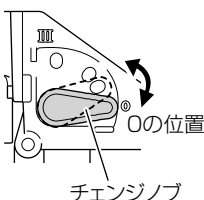
● 軟鋼板の切断

1 ブレードの選定

- 金属の切断には、別売部品の金工用ブレードを使用します。（P.13「別売部品」参照）
- P.21「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。

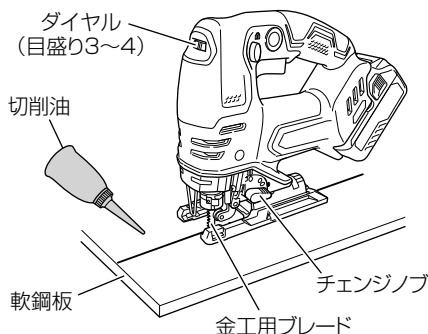
2 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを"0"または右図の位置に合わせます。（P.20「オービタル機構について」参照）



3 スピードを"3"～"4"にする

切断状況に応じて、ダイヤル（目盛り3～4）スピードを調整します。（P.19「ブレードのスピード調整」参照）



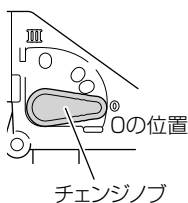
●ステンレス板の切断

1 ブレードの選定

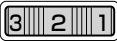
- ステンレス板の切断には、別売部品のステンレス用ブレードを使用します。(P.13「別売部品」参照)
- P.21「ブレードの取付け・取りはずし」の順に従いブレードを交換します。

2 オービタルポジションを選択する

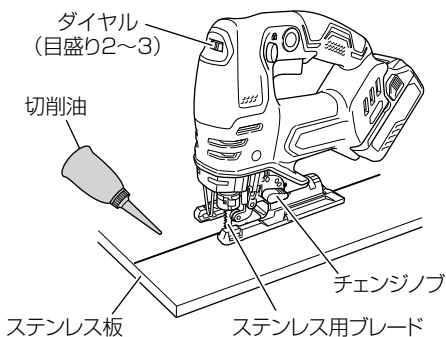
チェンジノブを"0"の位置に合わせます。(P.20「オービタル機構について」参照)



3 スピードを"2"~"3"にする

切断状況に応じて、ダイヤル
スピードを調整します。 (P.19「ブレードのスピード調整」参照)

注 ブレードのスピードを上げると速く切れますが、ブレードの寿命が短くなります。



いろいろな切断

⚠ 警告

切断中は切粉が飛散するので、保護メガネを使用してください。

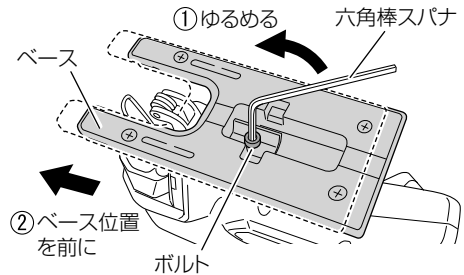
⚠ 注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れしないでください。反動で機体が浮き上がる場合があります。けがの原因になります。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。機体の破損および、けがの原因になります。

● 傾斜切断

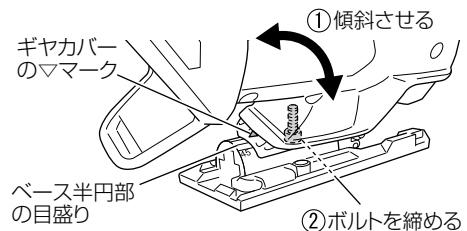
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動します。



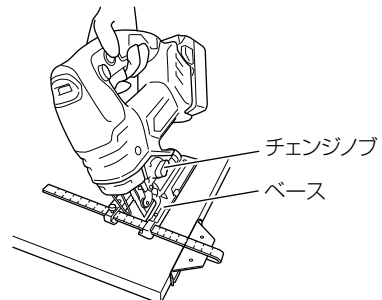
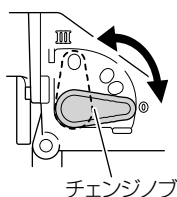
2 傾斜させる

- ギヤカバーの▽マークをベース半円部の目盛りに合わせ、ベース下部のボルトをしっかりと締付けます。
- ベース半円部の目盛りは左右 $0^{\circ} \sim 45^{\circ}$ まで 15° ごとに表示してあります。



3 オービタルポジションを選択する

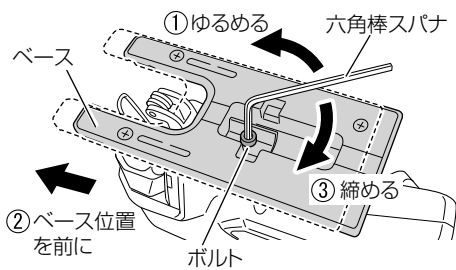
用途に応じて設定します。
(P.20「オービタル機構について」参照)



●窓抜き切断

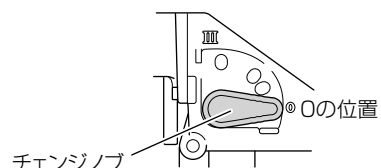
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動して、固定します。

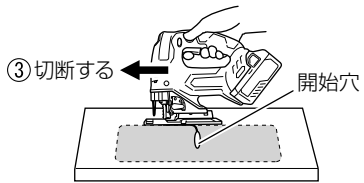
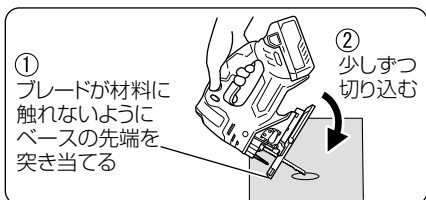


2 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを"0"の位置に合わせます。
(P.20「オービタル機構について」参照)

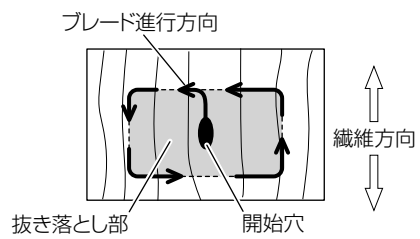


木材の場合

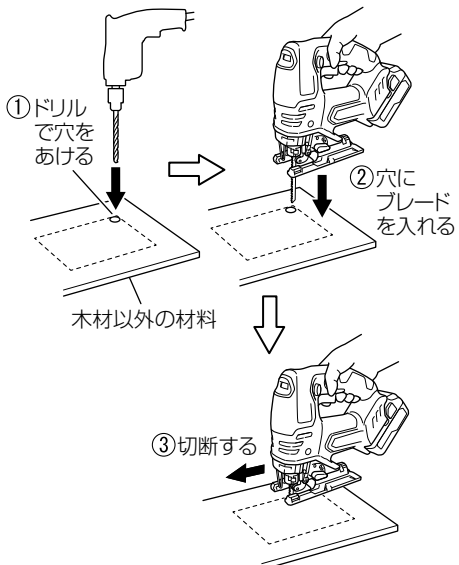


3 切り込む

- ベースの先端を材料に突き当てます。
- 木材の繊維方向にブレードを向け、少しずつ切り込んで開始穴を作り、木材の中部から窓抜きします。



木材以外の材料の場合



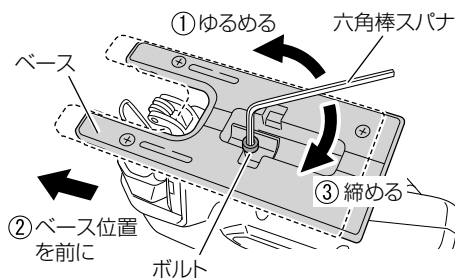
注 木材以外の材料は、あらかじめドリルなどでブレードの入るだけの穴をあけ、その穴にブレードを入れて窓抜きを開始してください。

ガイド（別売部品）を使う

●ガイドの取付け方

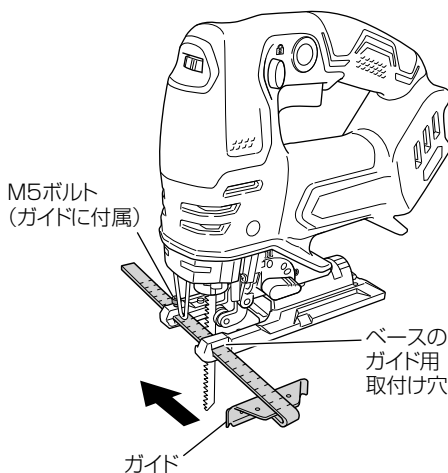
1 ベースを前にずらす

ガイドを取付けるときは、ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動してボルトを締付けます。



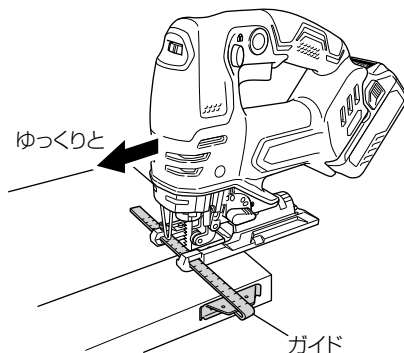
2 ガイドを取付ける

ガイドをベースの取付け穴に通し、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けて固定します。



●ガイドを使って直線に切る

材料の側面にガイドを突き当ててゆっくりと滑らせて切断します。



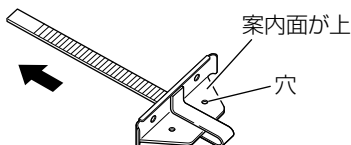
●ガイドを使って円、円弧に切る

ガイドを使って円や円弧に切ることができます。

このとき、別売部品のサブベースを取付けると、材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

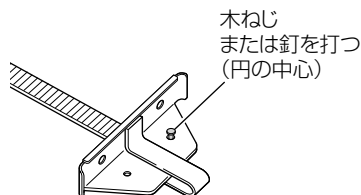
1 ガイドを取付ける

ガイドの向きは、下図に示すように案内面を上にしします。



4 円の中心を決める

ガイドの穴に木ねじ (太さ 3mm)、または釘を打ちます。

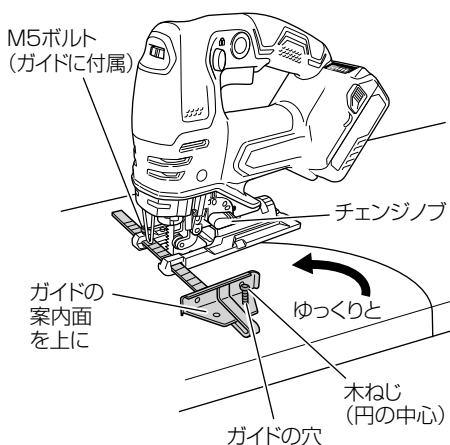
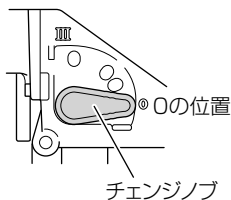


2 円の半径を決める

ガイドに設けてある穴とブレードまでの寸法を調節して円の半径を決め、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けてガイドを固定します。

3 オービタルポジションを選択する

きれいな円弧、曲線を切るには、チェンジノブを "0" の位置に合わせます。(P.20「オービタル機構について」参照)



注 小さい円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードが折れる原因になります。

蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

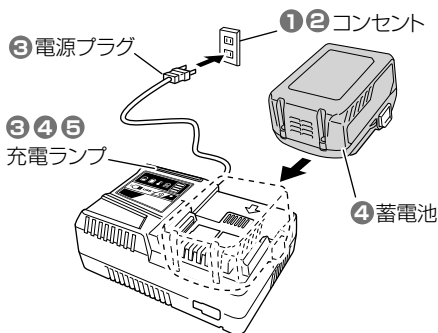
⚠ 警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 36A18 : 約 25 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタつく、または電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.34「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯 (連続ブザー音: 約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯 (断続ブザー音: 約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- 使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

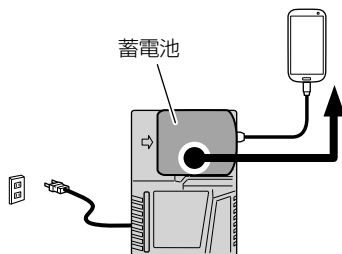
弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(P.41「故障診断」参照)
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の故障や蓄電池寿命(充電回数)を縮める原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

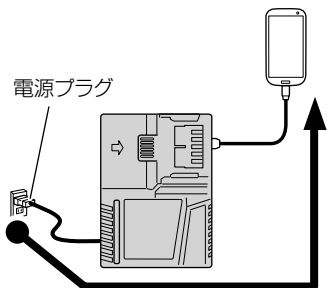
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

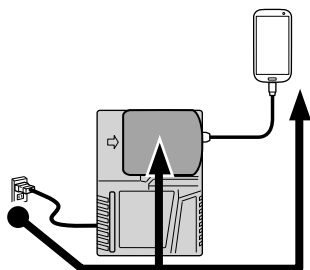
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



2 USB 電源スイッチを ON にする

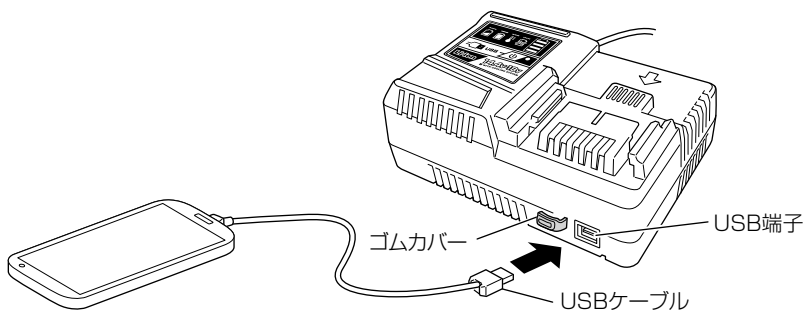
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ
USB電源ランプ

3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具体体から抜いてください。
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ブレードの点検

各ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 端子部（工具体体、蓄電池）の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかかる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

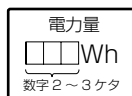
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。
- BSL36B18 は工具本体に取付けると 100 Wh を超え、危険物扱いとなります。

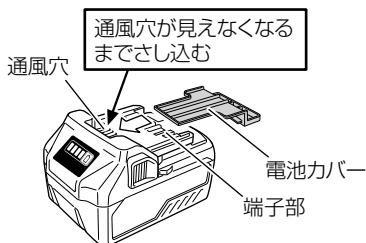


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。
- 使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

1. 工具体

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチツとなるまで蓄電池を押し込んでください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取り除いてください。 作業時の押し付け力を弱めてください。
	蓄電池または工具体が過熱状態になった	蓄電池および工具体を十分冷ましてください。
先端工具が 取付かない 抜ける 抜けない	取付け部形状が合わない	適切なブレードを使用してください (「別売部品」参照)
	レバーが開いている	レバーを閉じてください。
	ブレードホルダ内に異物が入っている	異物を取り除いてください。
スイッチが引けない	スイッチロックが解除されていない	スイッチロックを解除してください。
スイッチを引くと 異音(ピー)がする	スイッチの引き量が小さい	故障ではありません。 引き量を大きくすると発生しません。
ブレードがすぐ消耗する	ストローク数が速い	ダイヤルを現在より低いモード目盛りに切り替えてください。 (ステンレス板切断時は、低速に切り替えてください。) (「ブレードのスピード調整」参照)
	金属切断時に切削油を使用していない	切削油を使用してください。
	作業時の押し付け力が強すぎる	作業時の押し付け力を弱めてください。
切断が上手にできない	加工物の材質や厚さに適したブレードを使用していない	適切なブレードを使用してください。 (「別売部品」参照)
	加工物の材質や厚さに適したスピード調整、オービタルポジションになっていない	適切なスピード調整、オービタルポジションに設定してください。 (「ブレードのスピード調整」参照) (「オービタル機構について」参照)
	ブレードの摩耗・劣化・破損	新しいブレードに交換してください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。

2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをお勧めします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>